

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[基本事務事業名] (404) 健康づくり総合推進事業

[評価年月日] 平成12年12月6日

[主担当部課名] 健康福祉部健康対策課

[配入課名・課長名・電話] 健康対策課 城 克文

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策 : (- 2) 健やかな生活の確保

施策 : (2) 健康づくりと保健予防の推進

総合計画の目標項目 : 生活習慣病死亡率・日常運動時間

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策 : 生き生きとした高齢者の生活支援プログラム

2 基本事務事業を巡る環境変化 (過去、現状、将来)

国が策定した「健康日本21」地方計画として、県では12年度中にすべての県民が幸福感を持ち暮せることをめざした健康づくり総合計画「ヘルシーピープルみえ・21」を策定する。この計画に従い、13年度から総合行政・産官学民の協働により健康づくり政策を推進する。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図 (何をどういう状態にしたいのか)

県民 : 健康について主体的に考え、行動変容する。(生きがいのある充実した生活の実現、生活習慣の改善)

市町村 : 住民との協働による健康づくり事業を展開し、住みよいまちづくりを推進する。

産業保健・学校保健 : 生涯を通じた健康づくりの実現のために、産業保健・学校保健分野において、地域特性に応じた健康づくりの展開が図れるよう、協働体制を構築する。

3-(2) 成果指標名・成果指標式 (総合計画の目標項目には*を付す)

健康と感じている人の割合

生活習慣病死亡率

中年期の生活習慣病による年齢調整死亡率

市町村、関係団体等協働度

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明 (指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

健康を身体的・精神的・社会的に良好な状態とし、すべての県民が健康だと感じることができるよう、施策を展開する。

全庁的な取組みの推進 (総合行政)

市町村支援の充実強化

県民参加・NPOとの協働により、健康づくりを県民運動として展開

職域・保険者・学校等と協働し、それぞれの取組みを展開

3-(4) 結果 (施策における2010年度の目標)

健康と感じている人の増加

生活習慣病死亡率の減少

中年期の生活習慣病による年齢調整死亡率の減少

市町村、関係団体等協働度

健康寿命の延伸

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

「ヘルシーピープルみえ・21」の策定に向けてのベースライン調査の実施 (この調査の結果を数値目標設定の根拠とした。)

「ヘルシーピープルみえ・21」策定部会を開催し、「ヘルシーピープルみえ・21」の基本理念とそれに基づく健康実態調査の内容について、協議した。

健康づくり公聴会を開催し、県民や地域の関係者の健康づくりについての意見を聞き取った。「ヘルシーピープルみえ・21」データバンクの構築に着手し（完成 12 年度）人口動態等統計資料の情報提供等保健所企画機能の充実を図った。

人材確保・育成

ア 保健婦等地域保健従事者に対する専門研修を実施し、より専門的な知識・技術を習得した。

イ 保健婦一人設置市町村を解消した。

ウ 同和対策対象地区に対して、健康診査・健康相談等を実施し、健康水準向上をめざした。

前年度に残った課題

「ヘルシーピープルみえ・21」の策定

情報提供窓口として保健所企画機能の充実

専門家や関連団体等による「ヘルシーピープルみえ・21」の検討ではなく、一般公募の住民（幅広い世代や障害者）の参加による計画づくりを行う。

「ヘルシーピープルみえ・21」の実践に伴う人材の育成（ヘルスプロモーションの理念の普及）介護保険の導入に伴う市町村保健婦のあり方及び一次予防（介護予防）重視の活動への転換を容易にする。

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

「ヘルシーピープルみえ・21」の策定

すべての県民の健康を考えた「ヘルシーピープルみえ・21」を策定するために、学識経験者・関連団体・学校保健・産業保健に加えて、公募により一般県民（主婦・大学生・障害者）の参加を求めた三重の健康づくり総合計画審議会において審議した。

ホームページを開設し、データバンクシステムが完成し、情報提供の基盤を整備した。

庁内各課や取組み関連団体との連携・協働を深めた。

保健婦等の専門知識・技術の習得、市町村保健婦の確保支援。

本年度残ると思われる課題

総合行政での推進

「ヘルシーピープルみえ・21」PLAN-DO-SEE システムの構築

総合的な人材養成・育成

5 基本事務事業の改革方向

少子高齢の進展する中、構成比率の高まる高齢者がいきいきと前向きに生活することが、社会の活力を維持する基盤となる。

すべての県民が健康でいきいきと生活できるよう、これを実現する健康づくり施策は全庁的に総合行政で推進する。

市町村の医療費抑制を長期的にサポートするなど、地方分権の中で健康づくりの主体である市町村を支援する県・保健所の役割を明確化する。

県民運動として展開するために、県民参加・NPO・関連企業等と積極的に協働する。

6 成果指標値及びコスト等の推移

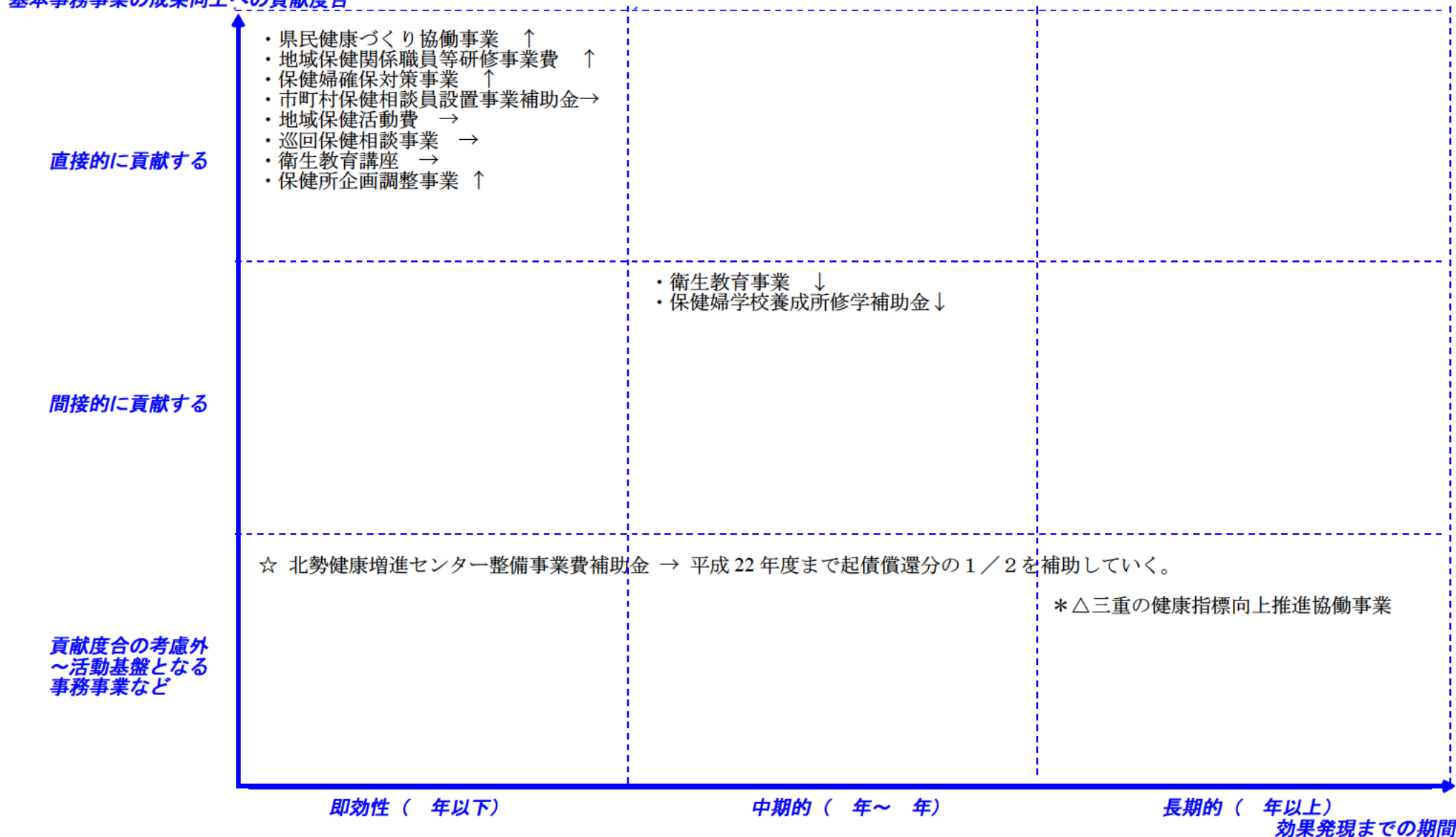
	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等(千円)	必要概算 コスト(千円)
	目標	実績		所要時間(時間)	
前々年度 (H10年度)			60.2%	915,322 31,032	1,044,787
前年度 (H11年度)			60.5%	58,684 36,726	230,999
本年度 (H12年度)				77,001 34,910	223,274
本年度補正後 (H12年度)				+(or ▲) +(or ▲)	+(or ▲)
翌年度 (H13年度)		_____	60.7%	107,528 51,430	323,020
計画目標年次 (H22年度)		_____	55.0%	_____	_____

基本事務事業名：健康づくり総合推進事業

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM：Project Portfolio Matrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合



※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

基本事務事業名：健康づくり総合推進事業

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

事務事業名 (担当課)	成果指標名	事務事業の概要	13年度 予算額 (千円)	予算額 前年度比 (±千円)	13年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
(新) 県民健康づくり協働事業 (健康対策課)	健康であると感じている 人の割合 「ヘルシー・ブルみえ・ 21」浸透度 「ヘルシー・ブルみえ・ 21」協働度	「ヘルシー・ブルみえ・21」外部評価・周知度評価 ITを活用した「ヘルシー・ブルみえ・21」情報提供 産官学民の協働体制の整備	5,846	- 22,019	13,300	- 28,700
地域保健関係職員等研 修事業 (健康対策課)	段階別到達目標達成 度	地域保健を担う保健婦等地域保健関係職員に対し、より専門 的に生活者を支援するための研修を実施、または県外研修に 派遣し、資質向上を図る。	6,730	476	14,000	0
保健婦確保対策事業 (健康対策課)	市町村保健婦設置数	地域保健関係事業の円滑な推進を図るために必要なマンパワ ーの確保を行う。	1,084	- 120	2,500	1,512
衛生教育事務費 (健康対策課)	学会発表数	健康教育用機材の整備を図るとともに、地域保健の専門職種 として学会の発表を行う。	697	- 126	1,200	732
地域保健婦活動費 (健康対策課)	活動実績	対象地域の保健対策を充実するために保健相談調整員を設置 する。	3,082	0	80	17
保健婦学校養成所修学 補助金	交付実績	対象地区に居住し、保健婦養成所に在籍する学生に対して、 将来保健婦として地域保健活動に従事しようとする者に修学 金を補助する。	2,060	0	350	46
市町村保健相談員設置 補助金 (健康対策課)	活動実施率	対象地区の健康水準向上を野図るため看護婦等有資格者が健 康相談等を実施する。	11,137	0	650	338
巡回保健相談指導費 (健康対策課)	健康認識度	対象地区の健康水準ををを図るため、地区において健康診査、 健康相談、家庭訪問等を実施する。	5,291	0	10,000	1,397
健康教育講座費 (健康対策課)	健康づくり実践度	対象地区の健康水準を向上させるため、住民自らが、健康へ の関心を高めるための意識づけをおこなうための支援をする	1,500	0	2,500	705
北勢健康増進センター 整備事業費補助金 (健康対策課)		平成11年度に完成した施設の償還金である。	49,563	13,279	850	574
保健所企画調整事業 (健康対策課)	事業実施率	保健所を中心とし、地域特性を生かした実践活動を推進す る。	20,538	12,680	6,000	346